



2024年6月6日

各位

会社名 レーザーテック株式会社
代表者名 代表取締役社長執行役員 岡林 理
(コード：6920 東証プライム市場)
問合せ先 取締役執行役員 三澤 祐太郎
(TEL.045-478-7111)

一部報道についての補足説明

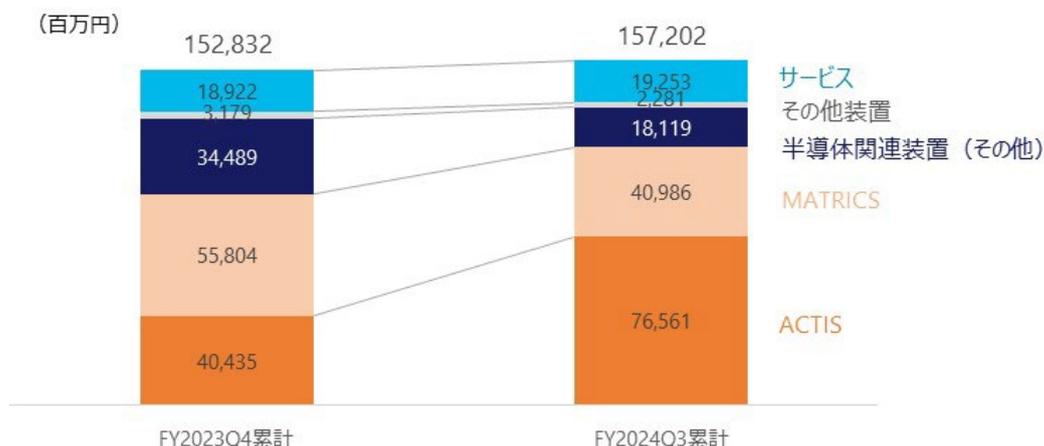
昨日2024年6月5日、Scorpion Capital LLCにおいて、当社の不正会計等を疑うレポートが発行されました。1) 当社のアクティニック EUV パターンマスク欠陥検査装置 ACTIS シリーズ (以下、ACTIS シリーズ) に対する顧客評価や需要動向 2) 会計処理において完成品を意図的に計上しないことによる不正会計への疑義などが主に示されておりますが、当社は、以下の通り、当該製品に対する旺盛な需要を受けており、また適切な会計処理を実施していることをお知らせいたします。

記

1. 製品別動向 (売上高/受注高)

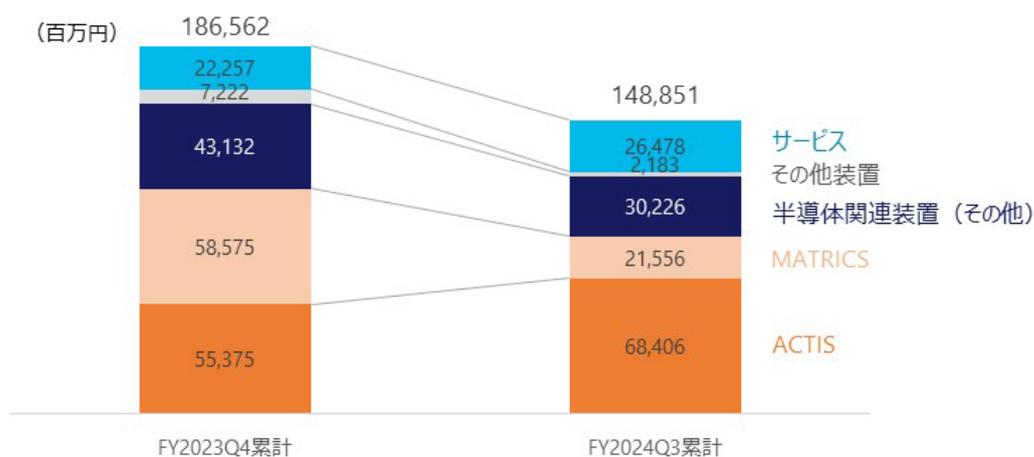
(1) 売上高

2024年6月期第3四半期までの累計の売上高は157,202百万円、うちACTISシリーズの売上高は76,561百万円です。2023年6月期通期のACTISシリーズの売上高40,435百万円に対し、第3四半期時点で既に大きく上回っております。



(2) 受注高

2024年6月期第3四半期までの累計の受注高は148,851百万円、うちACTISシリーズの受注高は68,406百万円です。2023年6月期通期のACTISシリーズへの受注額を第3四半期時点で上回っております。



2. 棚卸資産の会計処理について

当社の販売は検収基準で行っております。当社の製品は、顧客先で組み立てて試運転を行い、個別仕様によるカスタマイズを施した段階で、顧客により完成品として検収されて、同時に売上計上されます。そのため、検収時点まで製品とはみなされないため、一般に公正妥当と認められる会計基準に従い、これを仕掛品と認識しております。

また、当社では装置製造によるリードタイムが1年から2年と長期に及ぶため、受注高の増加に伴い仕掛品も増加しております。一方で、仕掛品在庫の品質低下や陳腐化、販売価格の下落による価値減少については、内部統制プロセスに従い、每期定期的に実施する実地棚卸や長期滞留在庫調査などにより、その結果を適正に在庫評価へ反映しております。

したがって、評価損や減損などは適正に会計処理されており、仕掛品の貸借対照表価額に反映されております。

以 上